

かいとう 算数解答

1	(1)	829
	(3)	6144
	(5)	8
2	(1)	5
	(2)	$\frac{7}{9}$
	(3)	$0.3\frac{3}{10}$
3	(3)	$>$

3点 × () 小計 / 36

2	(2)	5195
4	(4)	1715
6	(6)	7 <small>答 あまり</small> 2
8	(2)	$\frac{1}{11}$
10	(2)	4.5

4	(1)	6	cm		
	(2)	24	cm		
	(3)	5	こ		
	(4)	7	10	(こ) 1	3
5	(1)	5	cm		
	(2)	4	cm		

3点 × () 小計 / 12
4点 × () 小計 / 24

3	(1)	8	m	6	cm
	(3)	1	kg	330	g
	(2)	午後 1	時	55	分
4	(1)	1	km	150	m

3点 × () 小計 / 24

14	(2)	92	dL		
16	(4)	4	時間	20	分
18	(3)	2	L	dL	
20	(2)	2	km	500	m

5	(1)	2	dL
	(2)	9	dL
	(1)	3	まい
2	(2)	13	まい
	(3)	3	まい

4点 × () 小計 / 20

かい 解 説

1 (4) 筆算は右のようになります。

$$\begin{array}{r} 49 \\ \times 35 \\ \hline 245 \\ 147 \\ \hline 1715 \end{array}$$

(6) 答えのたしかめをすると、

「わる数×答え+あまり=わられる数」より、

$$6 \times 7 + 2 = 44$$

2 (1)① 筆算は、右のように小数点をたてにそろえて書き、整数と同じように計算し、上の小数点にそろえて答えの小数点をうちまします。小数第一位しゅうすうだいいちの0と小数点を消すのをわすれないようにします。

$$\textcircled{1} \begin{array}{r} 1.7 \\ + 3.3 \\ \hline 5.0 \end{array}$$

② 分母はそのまま、分子どうしを計算します。

$$(2)\textcircled{1} \frac{1}{9} + \frac{1}{9} + \frac{1}{9} + \frac{1}{9} + \frac{1}{9} + \frac{1}{9} + \frac{1}{9} = \frac{7}{9}$$

② 0.1が5こで0.5だから、 $4 + 0.5 = 4.5$

③ 数直線の1目もりは、 $(10 - 9 = 1)$ を10等分しているから、0.1を表します。アは10より3目もり小さいから、10より0.3小さいです。

(3)ア $\frac{1}{10} = 0.1$ です。 $\frac{5}{10} = 0.5$ だから、 $0.5 > 0.2$ です。よって、□にあてはまるものは不等号の「>」です。

イ $\frac{10}{10} = 1$ だから、□にあてはまるものは等号の「=」です。

3 (1)① $1\text{m} = 100\text{cm}$ です。

$$806\text{cm} = 800\text{cm} + 6\text{cm} = 8\text{m} + 6\text{cm} = 8\text{m}6\text{cm}$$

② $1\text{L} = 10\text{dL}$ です。 $9\text{L}2\text{dL} = 9\text{L} + 2\text{dL} = 90\text{dL} + 2\text{dL} = 92\text{dL}$

③ $1\text{kg} = 1000\text{g}$ です。

$$5\text{kg}30\text{g} - 3\text{kg}700\text{g} = 4\text{kg}1030\text{g} - 3\text{kg}700\text{g} = 1\text{kg}330\text{g}$$

④ 1時間=60分です。

$$2\text{時間}45\text{分} + 1\text{時間}35\text{分} = 3\text{時間}80\text{分} = 4\text{時間}20\text{分}$$

(2) 午後2時20分の25分前に家を出ればよいです。家を出る時こくは、 $25 - 20 = 5$ (分)より、午後2時の5分前で、午後1時55分です。

(3) $1\text{L} = 1000\text{mL}$ 、 $1\text{dL} = 100\text{mL}$ です。 $300\text{mL} = 3\text{dL}$ より、2本目に入った量は、 $1\text{L}2\text{dL} - 300\text{mL} = 12\text{dL} - 3\text{dL} = 9\text{dL}$ だから、全部で、 $1\text{L}2\text{dL} + 9\text{dL} = 1\text{L}11\text{dL} = 2\text{L}1\text{dL}$

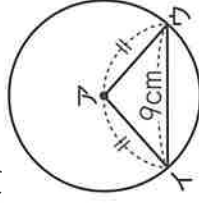
(4)① $1\text{km} = 1000\text{m}$ です。

$$2\text{km} - 850\text{m} = 1\text{km}1000\text{m} - 850\text{m} = 1\text{km}150\text{m}$$

② 学校から公園までの道のりは、 $1\text{km}400\text{m} - 1\text{km}150\text{m} = 250\text{m}$ だから、家から学校、学校から公園までの道のりの合計は、 $850\text{m} + 250\text{m} = 1100\text{m} = 1\text{km}100\text{m}$ です。

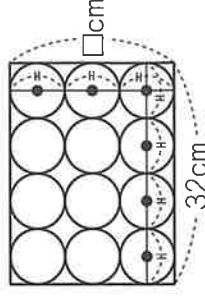
走った道のりの合計は、 $1\text{km}100\text{m} + 1\text{km}400\text{m} = 2\text{km}500\text{m}$

4 (1) 右の図1のように、三角形アイウのアイとアウの辺へは円の半径で、長さは等しいから、三角形アイウは二等辺三角形です。



アイとアウの長さの和は、 $21 - 9 = 12(\text{cm})$ だから、円の半径アイ(アウ)の長さは、 $12 \div 2 = 6(\text{cm})$

(2) 箱を上から見ると、右の図2のようにになります。



ボールは横に4こ、たてに3こならんでいます。箱の横の長さは32cmで、ボールの直径4つ分にあたるから、ボールの直径は、 $32 \div 4 = 8(\text{cm})$ です。箱のたての長さ(図の□cm)は、ボールの直径3つ分の長さだから、 $\square = 8 \times 3 = 24(\text{cm})$

*箱の横の長さをボールの半径8つ分と考えると、半径を、 $32 \div 8 = 4(\text{cm})$ と計算して、箱のたての長さを、 $4 \times 6 = 24(\text{cm})$ と求めてもよいです。

(3) 二等辺三角形の等しい2つの辺の長さが3cmのとき、もう1つの辺の長さは5cmか7cmで、5cmのときは下の図3のアのような三角形ができますが、7cmのときはイのように三角形はできません。等しい2つの辺の長さが5cmのとき、もう1つの辺の長さは3cmか7cmで、図3のウとエのような三角形ができます。等しい2つの辺の長さが7cmのとき、もう1つの辺の長さは3cmか5cmで、図3のオとカの長さが7cmのとき、もう1つ

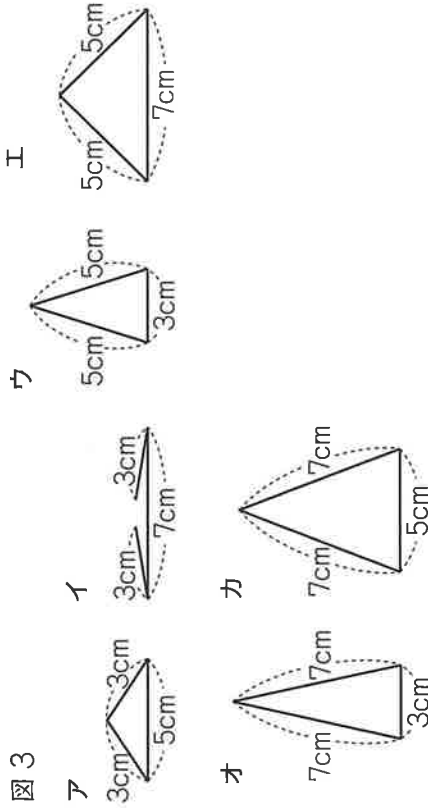


図3

(4) 問題の図形には、1辺1cmの正三角形が下の図4のように、10こあります。また、1辺2cmの正三角形は下の図5のように3こあります。

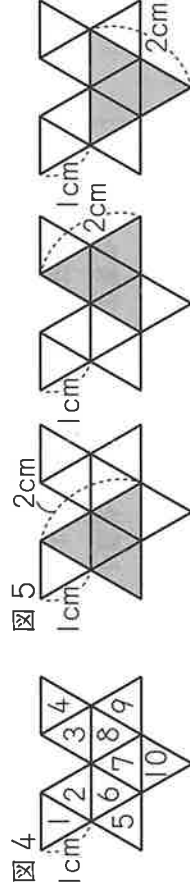


図4

図5

(5)① 右の図6で、アオは円 図6

④の半径で、長さは3cmです。円①の半径は、アイの長さと同じいから、円①の半径は、 $3+2=5(\text{cm})$

② 円②の直径は、イキの長さと同じく、

イキ $=26-アエ-アイ=26-3-3-5=18(\text{cm})$ です。イウは円③の半径で、 $18\div2=9(\text{cm})$ 、イカは円④の半径で5cmだから、

$\square = \text{イウ} - \text{イカ} = 9 - 5 = 4(\text{cm})$

5 (1)① 「やかん」のぼうの長さは、たてのじくの6目もり分です。6目もりが12dLを表しているから、1目もりは、 $12\div6=2(\text{dL})$ を表します。

② 1目もりが2dLを表しているから、半目もりは2dLの半分の1dLを表しています。

最も多かつたのは「なべ」で、ぼうの長さは8目もり半だから、かさは、 $2\times8=16$ より、 $16+1=17(\text{dL})$ です。最も少なかったのは「どんぶり」でぼうの長さは4目もりだから、かさは、 $2\times4=8(\text{dL})$ です。

よって、ちがいは、 $17-8=9(\text{dL})$

*「なべ」と「どんぶり」は4目もり半ちがうことから、 $2\times4=8$ 、

$8+1=9(\text{dL})$ と求めてもよいです。

(2)① 下の表のアにあてはまる数で、 $17-5-9=3$ (まい)

色板の形と色調べ (まい)

形 \ 色	赤	黄	青	合計
円	5	ア	9	17
三角形	イ	12	ウ	25
四角形	エ	3	オ	カ
その他	11	キ	16	ク
合計	26	22	ケ	86

② 表のカにあてはまる数を求めます。

$$キ = 22 - ア - 12 - 3 = 22 - 3 - 12 - 3 = 4$$

$$ク = 11 + キ + 16 = 11 + 4 + 16 = 31$$

$$カ = 86 - 17 - 25 - ク = 86 - 17 - 25 - 31 = 13 \text{ (まい)}$$

③ 赤色の四角形(エ)と青色の四角形(オ)のまい数の合計は、

$カ - 3 = 13 - 3 = 10$ (まい)だから、赤色の四角形(エ)と青色の四角形

(オ)のまい数は、それぞれ、 $10 \div 2 = 5$ (まい)です。

よって、赤色の三角形(イ)のまい数は、

$$イ = 26 - 5 - エ - 11 = 26 - 5 - 5 - 11 = 5 \text{ (まい)},$$

青色の三角形(ウ)のまい数は、

$$ウ = 25 - イ - 12 = 25 - 5 - 12 = 8 \text{ (まい)} \text{ だから、ちがいは、}$$

$$8 - 5 = 3 \text{ (まい)}$$

$$* \text{ウは、ケ} = 86 - 26 - 22 = 38 \text{ より、ウ} = 38 - 9 - オ - 16$$

$$= 38 - 9 - 5 - 16 = 8 \text{ (まい)} \text{ と求めてもよいです。}$$

国語解答

1

小計 2点
x ()
/ ()

(5) (1) はぐるま
助ける

(6) (2) ととのえる
遊ぶ

(7) (3) ぼどつきよう
神社

(8) (4) しんりよく
相談

2

小計 3点
x ()
/ ()

(9) (1) ① 点 ② 店
① 足 ② 息

(10) (2) ① 速 ② 早
① 柱 ② 注

(11) (4) 各完答。漢字以外不可

3

小計 2点
x ()
/ ()

(11) (1) 南 暗
(13) (2) 始 弱

(14) (4) (1) (2)
(16) (4) (1) (2)

(1) (4) 漢字以外不可

4

小計 4点
x ()
/ ()

(12) (1) に が を
(14) (2) は と へ
(15) (3) (4) (1) (2) (3)

(17) (完答。ひらがな以外不可)

5

小計 3点
x ()
/ ()

(17) (1) ウ イ
(18) (2) オ カ

6

小計 3点
x ()
/ ()

(19) (1) 算数です
(20) (2) やりましたか
(21) (3) ぶるでしょう
(22) (4) とけませんでした

(1) (4) 表記は漢字・ひらがなを問わない

7

小計 4点
x () - ()
/ ()

(23) (1) 平泳ぎなら

(26) (1) 書きぬぎ

(27) (2) ア

(28) (3) イ

(29) (4) ハ リ ー ・ ポ ッ タ ー の T シ ャ ッ ツ

(30) (5) に ま ほ う の か が あ っ た

(31) (6) ① ぼ く に ラ イ バ ル 心 を も っ て い る
② 三 [3] つ

(5) (1) 書きぬぎ

(32) (7) ① プ ラ イ ド ② い っ し ょ に 泳 げ る

(6) 書きぬぎ。完答

(33) (8) エ

(34) (8) ウ

(4) (列例) 「まほうの力をもつハリポタのシャツを着て泳いだ」
(列例) 「ハリポタのティーシャツがまほうをかけた」
・「まほう」ということばが用いられていないものは0点。
・「ハリー・ポッター」「ハリポタ」「ハリー」「ポッター」にあたる内容がないものは0点。
・「まほうがかかるとまほうの力がある・まほうの力をもつ」にあたる内容がないものは0点。
・「Tシャツ・シャツ」にあたることばがないものは0点。
・「泳いだ」の有無は問わない。

かい 説

1 漢字の読み書き

2 同じ読み方をする漢字

(2) 「速い」は、動きや進み方がはやい場合に使い、「早い」は、時期や時刻がはやい場合に使います。

3 反対の意味を持つ漢字

それぞれ、(1)「明暗」、(2)「強弱」、(3)「南北」、(4)「終始・始終」というように、反対の意味どうしの漢字を組み合わせた熟語があります。

4 「てにをは」

ことばを入れたあとに、文全体で意味が通っているかをたしかめましょう。

5 呼応することば

(1)～(4) あとにつづく部分の言い方に注意して、かさわしいことばを選びましょう。(1)は「どうかしてください」、(2)は「おそろくくだろう」、(3)は「ちつともくない」、(4)は「たとえくても」ということばの組み合わせになっています。

6 文末表現

(1)～(4)「ます」や「です」を文末に用いることで、ていねいに表すことができます。「ましょ(う)」「でしょ(う)」のように、「ます」「です」の形がかわることに注意しましょう。また、「ます」は、打ち消しの意味が加わると「ませ(ん)」という形になることに注意しましょう。

7 物語(本田有明「願いがかなつふしぎな日記 夢に羽ばたく夏休み」より)

(1) ぼう線①のあとの「あのころとは比べものにならないほどく進歩していた」の次の二文に、「ぼく」の今の泳ぎの内容が書かれています。

(2) ぼう線②のあとを読み進めていくと、「ぼくを見ていた山下くんの目が、すごく真剣そうだった」とあります。山下くんは決してふざけて「ハリポタやるのか?」と聞いたわけではないことがわかります。

(3) 「ぼく」は山下くんは何のことを言われているのかわからなかったので、びつくりしています。目を開けたりとじたりする動作は、びつくりする様子を表すときに用いられることがあります。

(5)②「ぼく」はこのあとで、「去年山下くんから市営プールにさそわれたこと」、「山下くんが校内マラソンの目標を聞いたり、ぼくにぬかれて悔しそうにしていたりしたこと」、「山下くんがとなりの席の田中結花さんに勉強のことを質問していたこと」を思い出しています。

(6) 勝負をするのに長い距離を提案して、もし山下くんが泳ぎ切れなければ、「ぼく」をライバルのように思っている山下くんの「プライド」を傷つけてしまいます。そこで、「ぼく」は「いっしょに泳げる」距離を提案したのです。

(7) 「ぼく」は、山下くんの泳ぎについて「すごい勢いで手足を動かしている」が、「スピードがともなっていない」ことを見ぬぎ、このまま競い合う感じでゴールしようと考えています。

(8) 山下くんと同時にゴールしようと考えていた「ぼく」は、とちゆうで笑いそうになったはずみで足をつき、失格になりました。余裕をもちすぎて結局負けてしまったことについて、「ぼく」はショックを受けているので、ウが正解です。アは「わざと負けてやるう」が正しくありません。イは「ぼく」が「自分の泳ぎも大したことはなかったのだ」と思っているかどうかはわかりません。エは「ぼく」が「ついに自分とよい勝負をするようになってくれて、うれしくなっている」様子は本文中に書かれていません。